

令和元年度第1回消費生活eモニターアンケート調査

「エシカル消費について」

目 次

第1章 調査の概要	…P2
1 調査目的	
2 調査方法	
3 調査期間	
4 調査対象	
5 回答者の属性	
第2章 調査結果	…P3

【以下のホームページも是非ご覧下さい。】

©くらし安全防災局 くらし安全部消費生活課

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/index.html>

第1章 調査の概要

1 調査目的

エシカル消費についてのアンケートを行い、現状の把握、また認知度、理解度向上のため、様々な視点から効果的な方法を探り、今後の消費生活行政の参考とする。

【SDGs(エスディーゼーエス)】…2015年国連サミットで採択された、地球上にあるさまざまな社会課題を2030年までに解決するために定められた17の国際目標

【エシカル消費】…人や社会、環境に配慮したものやサービスを選択する消費行動。フェアトレード製品やオーガニック製品など、人や社会、環境への思いやりのある商品を買うこと。

【フェアトレード】…開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみ

2 調査方法

ホームページ上でのアンケート調査（全13問）

3 調査期間

令和元年8月2日(金)から8月10日(土)まで
(延長期間:令和元年8月13日(火)から8月18日(日)まで)

4 調査対象

消費生活eモニター：298名 回答者：270名

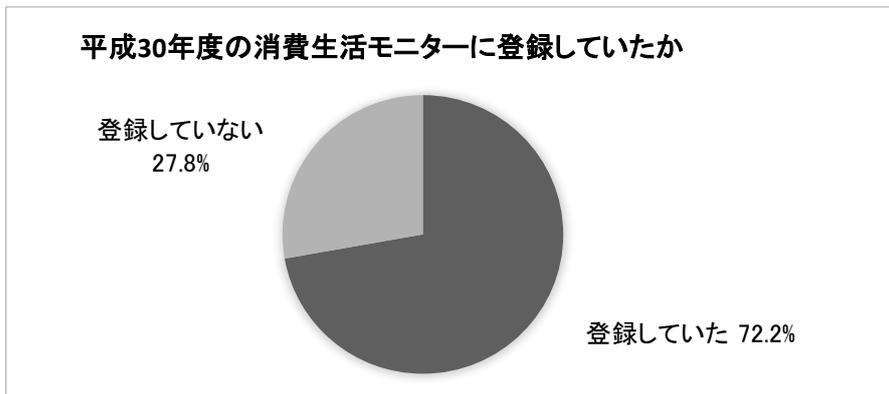
5 回答者の属性

年齢	18～29歳	6名
	30歳代	49名
	40歳代	64名
	50歳代	70名
	60歳代	47名
	70歳以上	34名

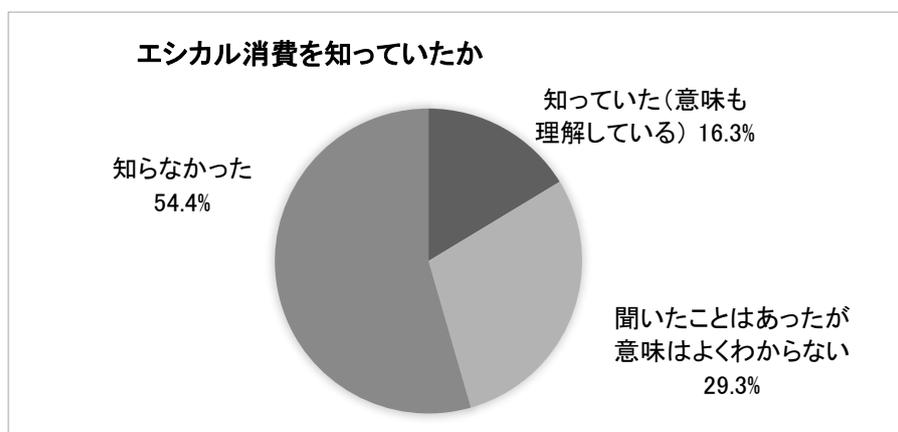
第2章 調査結果

- ・複数回答のある設問では、比率の合計が100を超える場合があります。
- ・未回答者がある場合、%の合計が100に満たない場合があります。

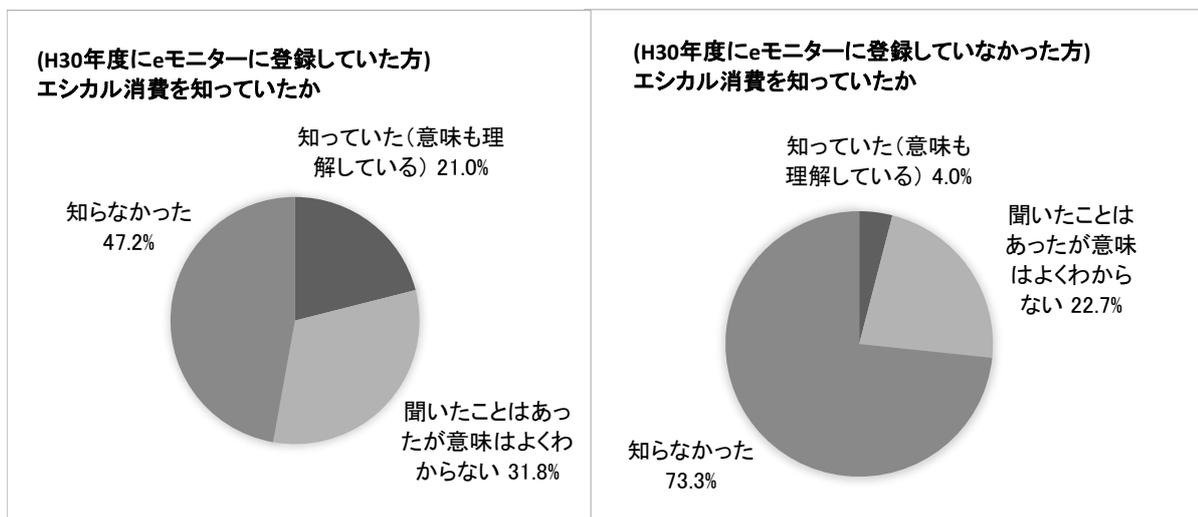
Q1 平成30年度の消費生活eモニターに登録していたかたずねたところ、72.2%の方が登録していたと回答した。



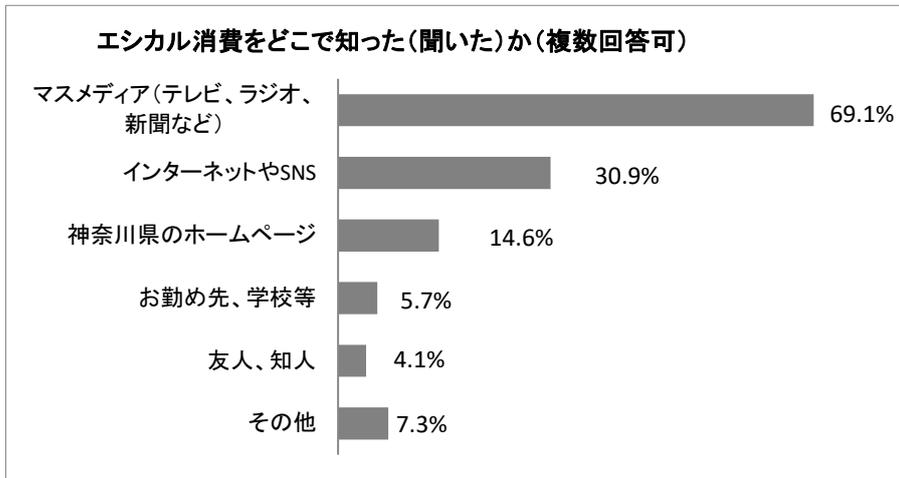
Q2 「エシカル消費」を知っていたかたずねたところ、「知らなかった」と回答した方が54.4%だった。



※ Q2で、平成30年度消費生活モニターに登録していた方、登録していなかった方それぞれの結果

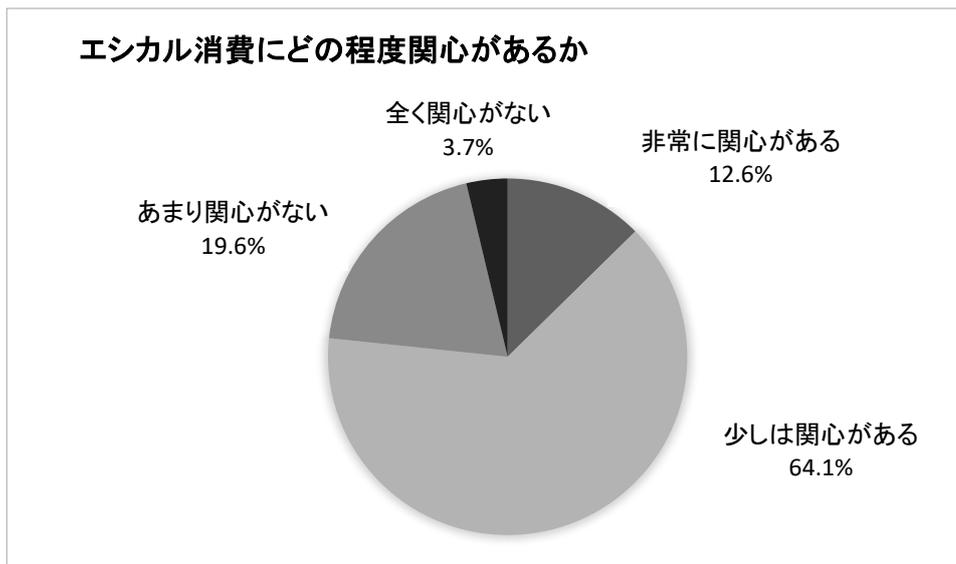


Q3 Q2で「知っていた(意味も理解している)」「聞いたことはあったが意味はよくわからない」と回答した方に「エシカル消費」をどこで知った(聞いた)かたずねたところ、69.1%の方が「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)」と回答し、30.9%の方が「インターネットやSNS」と回答した。(複数回答可)

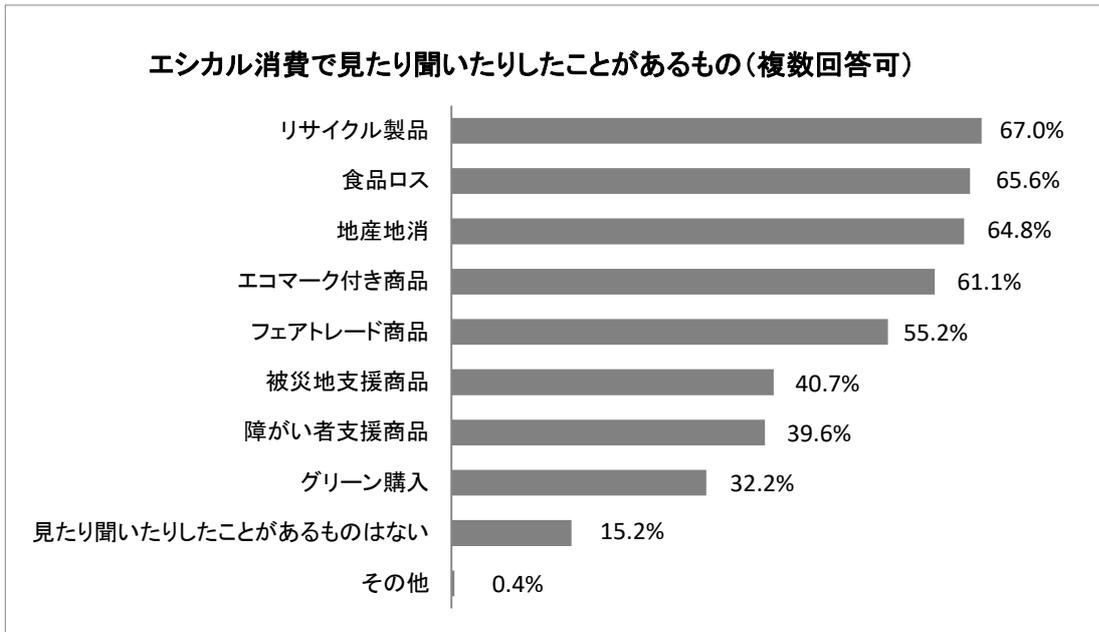


- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
- ・ 昨年の消費生活課eモニターのアンケート
 - ・ 生活協同組合のHPや小冊子

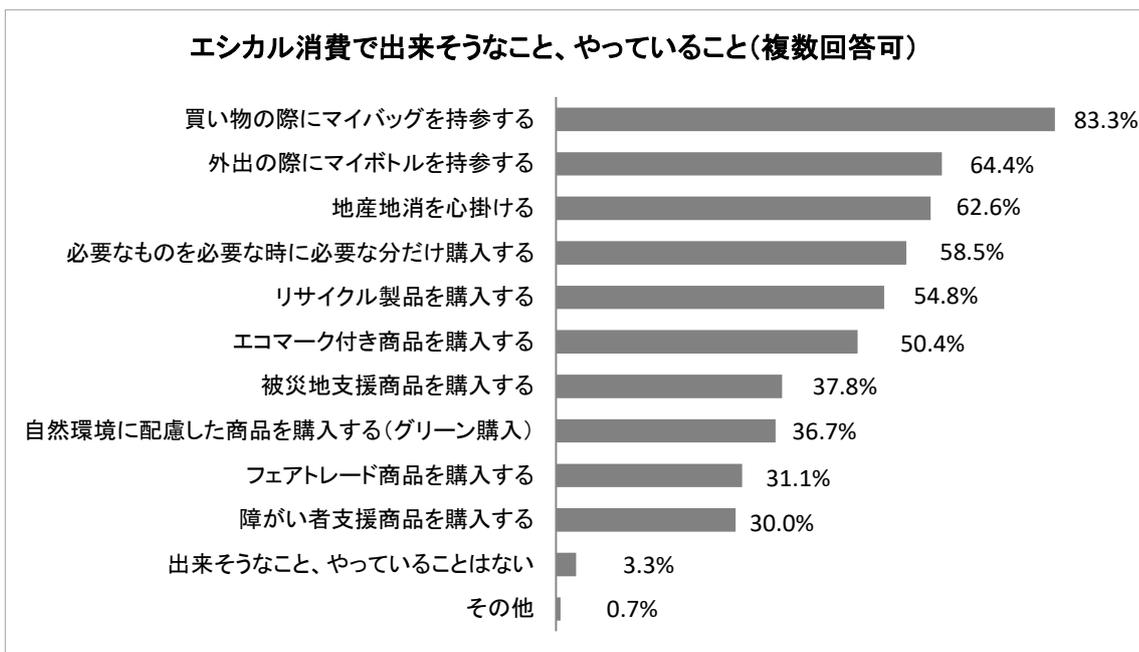
Q4 エシカル消費にどの程度関心があるかたずねたところ、「非常に関心がある」「少しは関心がある」と回答した方が合わせて76.7%だった。



Q5 エシカル消費に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものをたずねたところ、「リサイクル製品」が67.0%で一番多く、次いで「食品ロス」が65.6%、「地産地消」64.8%、「エコマーク付き商品」61.1%だった。(複数回答可)

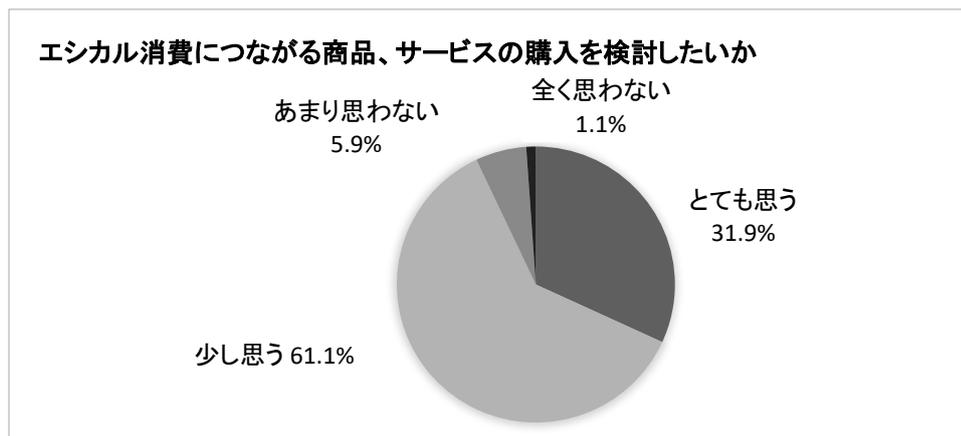


Q6 エシカル消費で、出来そうなこと、やっていることをたずねたところ、「買い物の際にマイバッグを持参する」と回答した方が83.3%、次いで「外出の際にマイボトルを持参する」が64.4%、「地産地消を心掛ける」が62.6%だった(複数回答可)

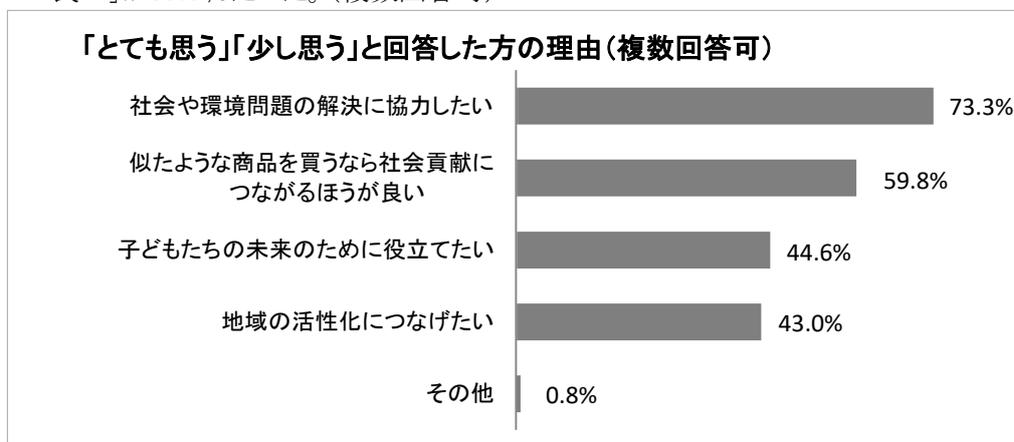


- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
- ・子どもの服などを作り変えて使用している

Q7 エシカル消費につながる商品、サービスの購入を検討したいかをたずねたところ、「とても思う」「少し思う」と回答した方が合わせて93.0%、「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方が合わせて7.0%だった。

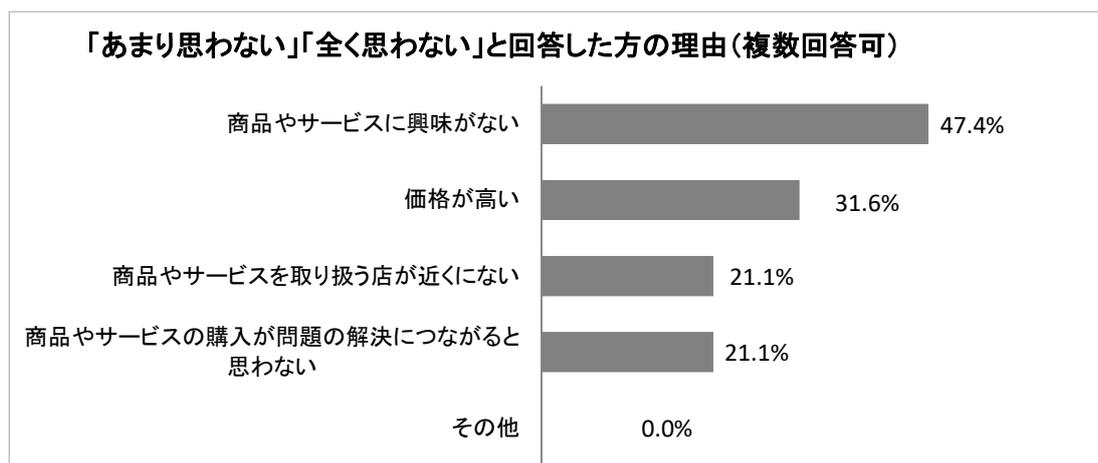


Q8 Q7で「とても思う」「少し思う」と回答した方に、その理由を聞いたところ「社会や環境問題の解決に協力したい」が73.3%、次いで「似たような商品を買うなら社会貢献につながるほうが良い」が59.8%だった。(複数回答可)

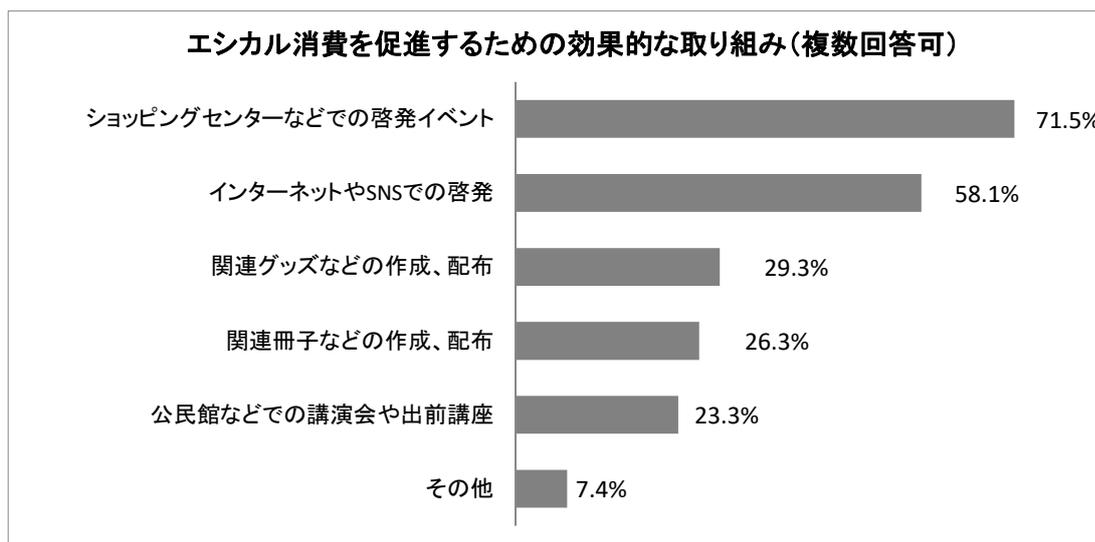


- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
 ・ゴミや廃棄物を減らしたい

Q9 Q7で「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方に、その理由を聞いたところ「商品やサービスに興味がない」が47.4%、次いで「価格が高い」が31.6%、「商品やサービスの購入が問題の解決につながると思わない」、「商品やサービスを取り扱う店が近くにない」ともに21.1%だった。(複数回答可)

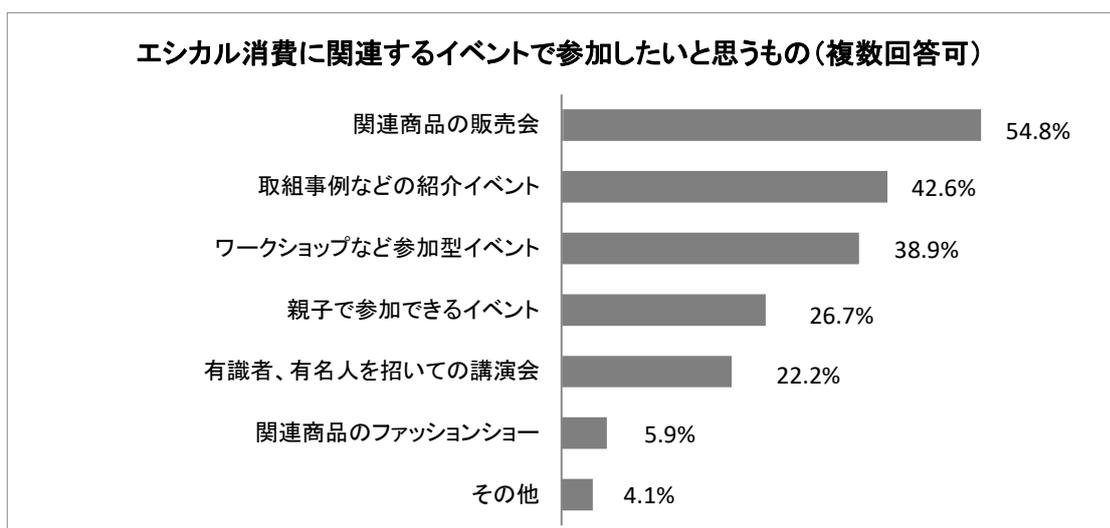


Q10 エシカル消費を促進するために、どのような取り組みが効果的だと思うかたずねたところ、「ショッピングセンターなどでの啓発イベント」が71.5%、次いで「インターネットやSNSでの啓発」が58.1%だった(複数回答可)



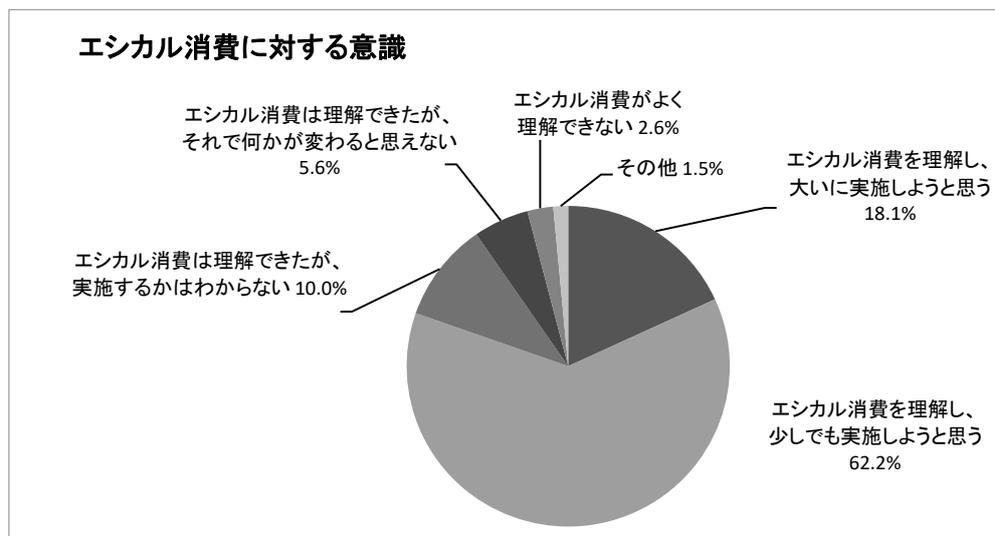
- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
- ・テレビなどで啓発する
 - ・関連商品を日常的にスーパーなどで販売する
 - ・小中学生を対象にした外部の専門家による授業

Q11 エシカル消費関連のイベントで、参加してみたいものをたずねたところ、「関連商品の販売会」が54.8%、次いで「取組事例などの紹介イベント」が42.6%、「ワークショップなど参加型イベント」が38.9%だった。(複数回答可)



- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
- ・外に出向いて参加するのではハードルが高いので家にも参加したり啓発できるような機会を作してほしい
 - ・小学校、中学校での啓発活動

Q12 今回のアンケートを通して感じたエシカル消費に対する意識についてたずねたところ、「エシカル消費を理解し、大いに実践しようと思う」「エシカル消費を理解し、少しでも実践しようと思う」と回答の方が合わせて80.3%だった。



○「その他」の主な回答（抜粋・要約）

- ・まだまだ十分に理解できてないと思う。
- ・普段からエコな生活をしている。特に言葉から入らなくてもいいと思う。

Q13 エシカル消費、SDGsについて、自由意見をたずねたところ、主な意見は次の通りでした。（抜粋・要約）

【エシカル消費全般に関すること】

- ・エシカル消費、SDGs精神は元々あった。子どもたちも身近に感じられるような機会が増えたらいいと思う。
- ・頑張らなくても自然に出来る、ライフスタイルに合った消費行動でなくては続かないと思う。
- ・エシカル消費という言葉は初めて聞いたが、環境保全や社会貢献につながる、自分にできることがあれば協力したい。
- ・このアンケートが届き、調べて興味を持った。日常生活で意識していきたい。
- ・一人一人の心がけによって大きな力になっていくと思う。まずははじめの一步を進めていきたい。

【広報、普及、周知活動に関すること】

- ・いろいろな形で多くの人に取り組める啓発ができるといいと思う。
- ・エシカル消費は大事なことだと思うが、関連する商品自体に魅力を感じるものが少ない。商品の企画にもっと力を入れ、欲しいと思うものを作るのが近道。
- ・循環型社会の構築は必要不可欠だと思うが、市場レベルへの落とし込みが普及のカギになると思う。
- ・スポーツ選手、芸能人、有名人を起用するプロモーション活動が有効だと思う。

【教育に関すること】

- ・小学校など教育の場で浸透させる必要があると思う。

【認知度に関すること】

- ・エシカル消費という言葉、内容を初めて知った。

【言葉、表記に関すること】

- ・カタカナではなく、日本語で端的に説明できる言葉があればいい。
- ・日本語的表現をしないと普及に限界があると思う。

【その他】

- ・物が溢れる時代となった今日、負荷がかかり始めた。本質を見つめ、人間社会の原点に立ち戻る必要がある。

【まとめ】

今回のアンケートを通じ、次のような点がわかりました。

- 「エシカル消費」について「知らなかった」と回答した方は全体では5割を超えていた。また、昨年度消費生活eモニターに登録していた方に関しては「知らなかった」と回答した方は4割台だったが、登録していなかった方については、7割以上だった。
- 関心度に関しては、「少しは関心がある」と回答した方が6割を超え、「非常に関心がある」と回答した方と合わせると7割を超えていた。関心度は一定数ある。
- エシカル消費に関して「出来そうなこと、やっていること」では、「買い物の際にマイバッグを持参する」と回答した方が8割を超えていた。次いで6割以上の方が「外出の際にマイボトルを持参する」「地産地消を心掛ける」、5割以上の方が「必要なものを必要な時に必要な分だけ購入する」「リサイクル製品を購入する」「エコマーク付き商品を購入する」と回答していた。
- エシカル消費につながる商品、サービスの購入の検討に関しては、「とても思う」、「少し思う」が合わせて9割以上で、その理由については、「社会や環境問題の解決に協力したい」が最も多く7割以上だった。また、「あまり思わない」「全く思わない」と回答した方の理由では「商品やサービスに興味がない」が一番多かった。
- エシカル消費の促進で効果的だと思うことは、「ショッピングセンターなどでの啓発イベント」と回答した方が7割以上で一番多く、次いで5割以上の方が「インターネットやSNSでの啓発」と回答した。
- エシカル消費に関連するイベントで、参加したいと思うものについては、「関連商品の販売会」と回答した方が5割以上で一番多く、次いで「取組事例などの紹介イベント」が4割以上だった。
- 今回のアンケートを通して感じたエシカル消費に対する意識については、「エシカル消費を理解し、大いに実施しようと思う」、「エシカル消費を理解し、少しでも実施しようと思う」と回答した方が合わせて8割を超えていた。

今後、アンケート結果を踏まえ、消費者教育の推進や県民への的確な情報提供などに取り組んでまいります。